

学期	月	時数	内容	項目名	学習目標 学習活動	評価の観点			評価規準
						知	思	態	評価方法
1 学期	4 月	4		ガイダンス ・生活や社会における技術の役割 ①技術の役割 ②技術の見方・考え方 ③技術と生活・産業環境 ④技術とエネルギー・環境 ⑤受け継がれ発展する技術	○社会や生活に活かされている技術に関心を持ち、その役割を知る。			○	・人びとの「願い」を実現するための技術を見つけ、その役割を考えている。 <b>(学習プリント)</b>
					○技術の見方・考え方を調べる。	○		○	・技術の見方・考え方を調べる、関心を持っている。 <b>(学習プリント)</b>
					○技術が生活や産業に及ぼしている影響に気づく。 ○技術の進歩による新たに発生した問題とその解決のために技術が果たす役割を知る。			○	・技術の向上により生活や産業に及ぼす影響を考えている。 <b>(期末考査・学習プリント)</b>
					○日本で受け継がれてきた技術に関心を持つ。			○	・日本の伝統的な技術が受け継がれ、現代の生活や産業のものづくりに活用されていることに関心を持っている。 <b>(授業観察・学習プリント)</b>
	5 月			生活や社会と材料と加工の技術 ①生活や社会を支える材料と加工の技術 ②身の回りにある材料と加工の技術	○身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。	○	○		・生活の中で利用されている製品に込められた工夫を読み取り、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 <b>(学習プリント)</b>
					○木材や金属などの材料の特性に関する実験・観察を行う。	○			・木材や金属などの材料と使用方法を説明できる。 <b>(学習プリント・定期考査)</b>
	6 月			材料を利用するための技術 ①さまざまな材料と加工の技術 ②木材の材料と加工の技術 ③金属の材料と加工の技術 ④プラスチックの材料と加工の技術 ⑤構造をじょうぶにする技術 ⑥製図	○木材の特徴と加工方法を調べる。	○			・木材の特徴や加工法の科学的な原理・法則を説明できる。 <b>(学習プリント・定期考査)</b>
					○金属やプラスチックの特徴と加工方法を調べる。			○	・進んで材料と加工の技術に関わり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。 <b>(学習連絡表)</b>
					○身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。	○			・じょうぶな構造や形状・組み合わせについて科学的な原理・法則を説明できる <b>(学習プリント・定期考査)</b>
					○等角図法および第三角法による正投影図法を身につける。	○		○	・図面を読み取り、書いたりすることができる。 <b>(学習プリント)</b>
	7 月		A	材料と加工の技術 問題解決の手順 (身のまわりで役立つ製品の設計・製作) ①問題解決の流れ ②問題の発見と課題の設定 ③設計	○材料と加工の技術による問題解決の手順を調べ、問題解決の視点について考える。	○			・製品の問題解決の手順から、問題解決の視点について、気付くことができる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。 <b>(定期考査・授業観察)</b>
					○生活の中から、身の回りの問題を見いだして、課題を設定する。			○	・生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして、整理・整頓に関わる課題を設定することができる。 <b>(学習プリント)</b>
2 学期	8 月	2 6		○設定した課題に基づき、製作物を構想・試作する。 ○課題を解決する製作物の設計図・工程表を具体化する。	○	○		・製作物の構想図をかき、試作品を製作することができる。 <b>(学習プリント・作品)</b> ・必要な図面や表をかきあわせることができる。 <b>(学習プリント)</b>	
	9 月			製作のための技能 ①材料取りと部品加工 ②組立てと仕上げ	○製作物の材料取りを行う。			○	・課題の解決策となる製作物の大きさ・形状・構造など、使用場所や加工方法・使用できる材料などの制約条件に基づいて構想し設計や計画を具体化できる。 <b>(学習プリント・作品)</b>
					○切断作業を行う。			○	・安全・適切に材料取り、材料取り・切断・部品加工を行うことができる。 <b>(授業観察・作品)</b>

2 学期	10月		○組立てにむけて必要な部品加工を行う。	○	○	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。 (学習プリント・授業観察・作品)	
	11月		○製作品の組立てを行う。	○		・安全・適切に組立て・仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正ができる。 <b>(作品・定期考査)</b>	
	12月		○製作品の仕上げと検査・点検、必要に応じた改善・修正を行う。	○		・適切に組立てができるよう手順を考えて組立てを行うことができる。 <b>(作品・授業観察)</b>	
3 学期	1月		○完成した製作品について発表し、相互評価に基づいて製作品や解決過程の修正・改善を考える。	○	○	・完成した製作品が設定した課題解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。 <b>(学習プリント)</b>	
		これからの材料と加工の技術 ①材料と加工の技術の学習をふり返ろう	○これまでの学習内容を振り返る。	○	○	・これまでの学習と、材料と加工の技術が安全な生活や社会の実現に果たす役割や影響を踏まえ、材料と加工の技術の概念を説明できる。 <b>(定期考査・学習プリント)</b>	
	2月	B	生活や社会と情報の技術 ①生活や社会を支える情報の技術	○情報の技術に関する製品やサービスに込められた工夫や仕組みを調べる		○	・身の回りにある、情報の技術を利用した機器やサービスに込められた工夫を読み取り、情報の技術の見方・考え方に気付くことができる。 <b>(学習プリント)</b>
		5	情報とコンピュータ ①コンピュータの構成 ②コンピュータによる処理のしくみ	○コンピュータシステムの構成とソフトウェアの働きを知る。	○	○	・情報のシステム化に関わる基礎的な仕組みを説明できる。 <b>(学習プリント)</b>
	3月						

**学習連絡表**

→授業開始時に本時の学習内容を記録し、授業終了時に本時に理解したことを書かせる専用の報告書で教科担任が保管